

わが国の社会資本（生活基盤）の整備状況について

Accumulation of The Social Capital for Livelihood in Japan

徳永健児
Kenji Tokunaga

ABSTRACT

Recently the Japanese Government has just started accumulating the social capital which puts importance on livelihood. And when this social capital is accumulated, it is necessary to consider impartiality among areas.

In this paper, about the condition of accumulation of this social capital (the length of roads, the rate of the bought houses, the rate of sewerage spread, the area of City parks), 1990's condition is compared with 1985's condition by using "Principal Component Analysis" for each region and for each prefecture.

From the conclusion of this analysis, several Figures is gotten. These Figures will be very helpful at going on with accumulation of this social capital.

1. まえがき

わが国の社会資本整備は、社会基盤にかんしては60年代以降優先的に進められてきたが、生活基盤に関しては近年になってやっとその充実促進が計られようとしている。欧米に比して著しく立ち遅れているこの種の社会資本を、国に活力のある間（あと10年か 20年といはれているが）に整備するには、生活者の視点に立った公平性を見極めながら進めることが大切だと考える。

以下は、その合理的な整備配分評価の一参考資料にと考へて、わが国各地域の最近の状況を主成分分析して調べてみたものである。

2. わが国の整備状況

対象とする生活基盤の社会資本には、高速自動車国道を除く一般道路延長（人口に対する）、持ち家率（世帯数に対する割合）、下水道普及率（人口に対する割合）および都市公園面積（人口に対する）の四つを取り上げた。データは 85年度と 90年度現在のもので別々に主成分分析した。なお分析は標準化した変量によっておこなった。

図-2 の散布図の Z_1 (第1主成分) は寄与率が共に 58%で、主として地域間格差を示す因子になっている。また Z_2 (第2主成分) は 41.40% で主として環境の充実度を示す因子（道路・都市公園）になっている。

散布図中の●は85年度データ、○は90年度データを表示している。

*キーワード：地域計画、社会資本

**正会員 東和大学教授 工学部建設工学科
(〒815 福岡市南区筑紫丘 1-1-1)

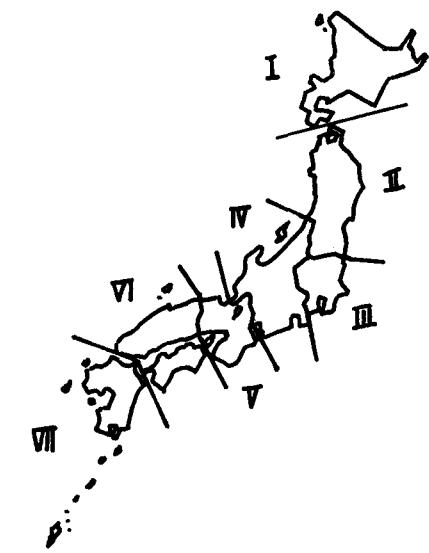


図-1 地域区分

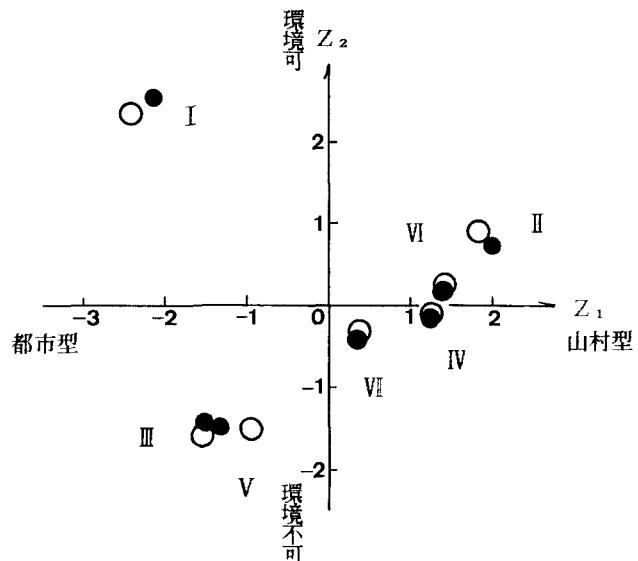


図-2 わが国のスコア散布図

3. 各地域の整備状況

データおよびその分析は 2. と同じである。 Z_1 (第1主成分) は 2. と似通った因子になっている。また Z_2 (第2主成分) は地域II, IVは主として持ち家と都市公園で、他は都市公園で代表される因子になっている。 Z_1 , Z_2 の寄与率を表-1に示す。

散布図中の●は85年度データ、○は90年度データを表示している。

表-1 地域の主成分の寄与率

地 域	Z_1 (85Y)(90Y)	Z_2 (85Y)(90Y)
II	59%, 59%	30%, 32%
III	80, 85	14, 12
IV	51, 47	34, 37
V	71, 70	25, 27
VI	63, 61	27, 28
VII	70, 69	23, 24

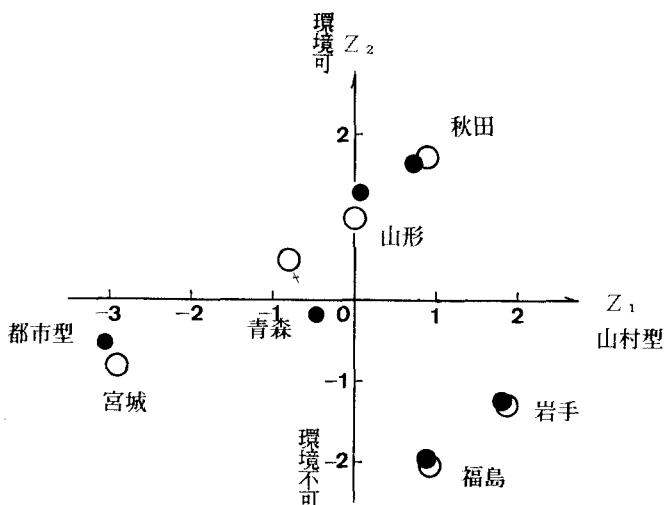


図-3 地域・II のスコア散布図

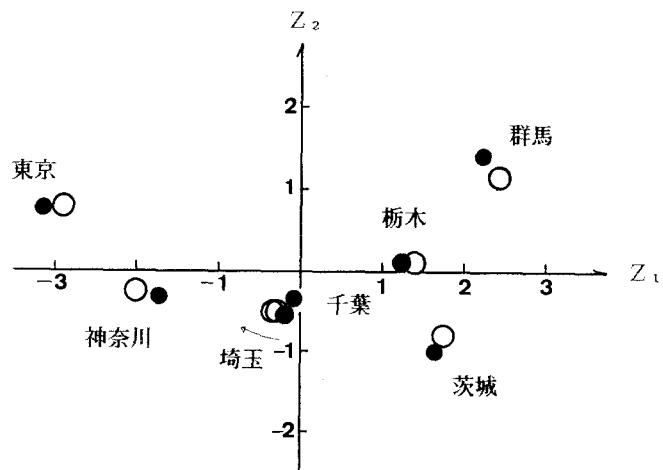


図-4 地域・III のスコア散布図

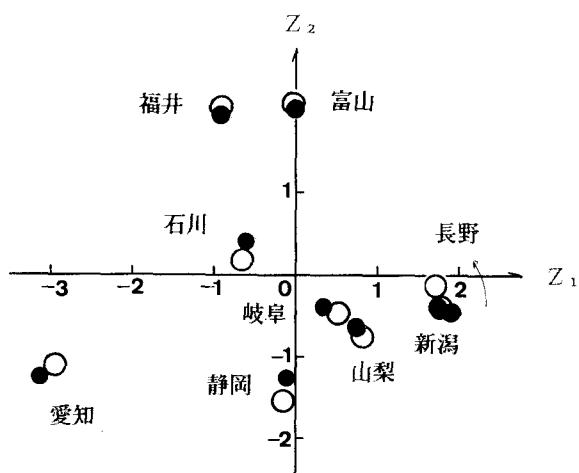


図-5 地域・IV のスコア散布図

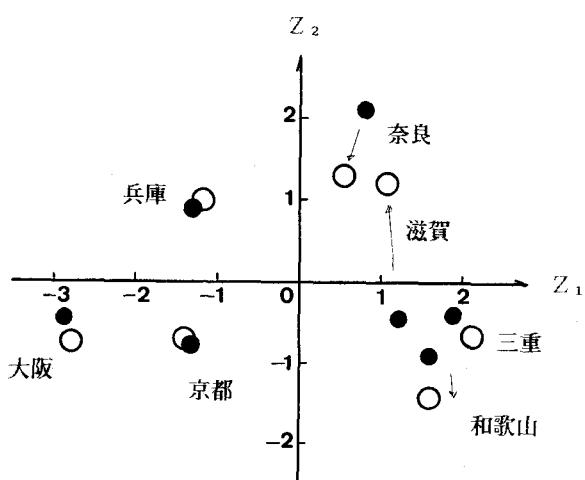


図-6 地域・V のスコア散布図

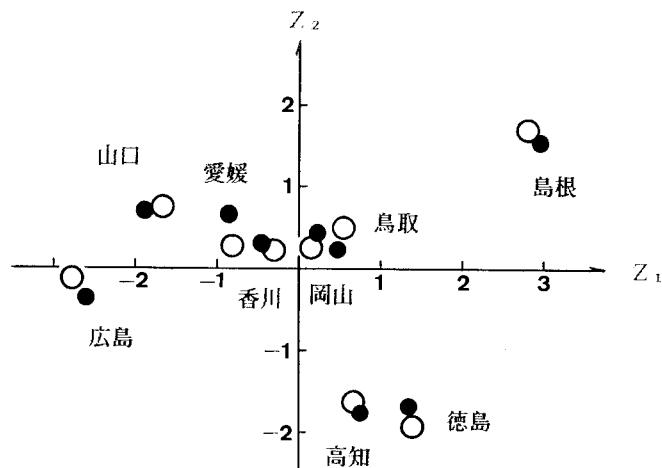


図-7 地域・VI のスコア散布図

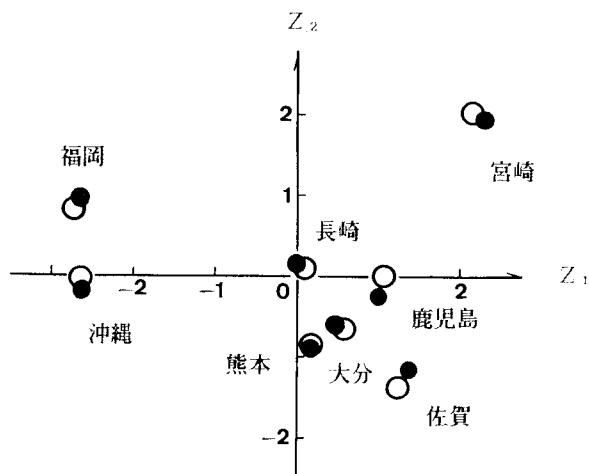


図-8 地域・VII のスコア散布図

4. あとがき

わずか5年間の経年データではあるが、地域各様の動きを見ることができる。この種の社会資本整備を進めていくに当たっては、巨視的見地から目標をたてて、且つ個々の不公平さを是正しながらバランスをとって進めることが大切と考える。